

地域で活かされるインターナショナルスクール

大阪YMCAが大阪市港区にインターナショナルスクールを開設して8年目を迎えます。区内では一段と認知度が増し、各種イベントへの参加要請や協力依頼が増えてきました。ORC200開設15周年祭が開催された10月3日(金)、4日(土)には生徒による歌や踊りのパフォーマンスが、同じく10月5日(日)には港区役所が中心になって開催される「天保山みなと祭り」への参加要請が、10月31日(金)にはハロウィンパーティーでの協賛依頼など多彩です。また、港区内の中学校からは中学生の職場体験研修の受け入れ先に、さらには数年前からキリスト教短期大学幼児教育学部の大学生の職場研修の場として毎秋1週間ほど学生の受け入れをしています。京都の仏教大学の教育学部の研究室からは毎年数回の学校見学の依頼があります。



オークフェスでのパフォーマンス

港消防署のホームページには本校の幼稚園児が消防署を訪問している写真が載っています。

毎年、10月中旬に開催され3000名以上の参加者・観衆を集客していましたFood & International Entertainment Festivalは、今年から5月に開催時期を移動することになりましたので、次回開催は2009年の5月になります。これら地域コミュニティとの交流のキーワードは「交流による相互の成長」です。

“多様性の中から、相互に触発されるものを発見してほしい。違いの中から創造を、似ているものの中から共有する基本的な人権を見据えてほしい。”

そんな願いを込め、大阪の中心地に根付いていこうとしています。

「世界YMCA/YWCA合同祈禱週」

自由と平等に生まれて
— 神に祝福された人権

合同祈禱週は、毎年ひとつのテーマのもとに全世界のYMCA、YWCAに連なる人々が同じ資料を用いて、その日課にしたがい聖書からメッセージを聞き、祈りを合わせる時として定められています。世界の人々の人権を守るため、世界の平和、正義の実現のための祈りがなされます。

祈禱週の初期の頃はYMCAだけで展開し、合同祈禱会をもちます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

大阪では、大阪YMCA・大阪YWCA・関西韓国YMCAが共に祈る合同祈禱週が始まりました。今年の祈禱週は11月9日～15日、テーマは「自由と平等に生まれて—神に祝福された人権」です。

大阪YMCA・大阪YWCA・関西韓国YMCA

合同祈禱会

日時 11月13日(木)
18:30~20:15
場所 大阪YMCA 10階チャペル
(最寄り駅:地下鉄四ツ橋線 肥後橋駅)

プログラム

一部 礼拝・祈りの時
奨励 本田哲郎神父
(カトリック・フランシスコ会「釜ヶ崎ふるさとの家」)

二部 交流会(軽食有り)

参加費 無料
問合せ 大阪YMCA国際・社会奉仕室
TEL 06(6441)0894
FAX 06(6445)0297
E-mail info@osakaymca.or.jp

レインボークラブ

知的障がい者の外出支援

東YMCAクリスマス献金支援プログラムの一つであるレインボークラブは、地域の外出経験の少ない知的障がい者を対象に、外出支援をしています。今年度は、6月と9月に紀泉わいわい村にて活動しました。

バーベキューやカレー作り・パン焼きなど、参加者自らが作り、時には食材を畑から収穫するな

ど、普段体験することのできないプログラムを展開しています。参加者の中には、作業をするのが苦手な方もおられますが、自然に囲まれた施設の中で、昔の日本をモチーフにした家屋などを見ながら、散策もプログラムの一つとして楽しんでいます。

私は、サンホーム(特別養護老人ホーム)のス

タッフですが、障がい者と接する機会が少ないため、レインボークラブに関わり、自分自身の視野を広げていく良い機会として、勉強させていただけたいです。

今後も、地域の中で生かされているYMCAのスタッフとして、他のスタッフ・ボランティアと協力し合い、参加された方と共により楽しめるよ



うなプログラムを展開していただけると思っています。す。(八尾大樹・YMCAサ
ンホームスタッフ)